

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期		
科目名	総合的な学習の時間の指導法	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年						
授業のねらい (到達目標)	実践的指導力を有する教員としての資質を高められるように, 基礎的な知識習得と教育現況をつかめるようにする。 子どもの生活に根ざした学校や学級の「総合的な学習の時間」年間計画立案ができるようにする。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習と総合的な学習の時間との違い ・総合的な学習の時間のねらいと目標そして内容 ・総合的な学習の時間の計画立案 ・総合的な学習の時間の評価 						
テキスト	小学校 学習指導要領 総合的な学習の時間 編						
授業計画	第1回	総合的な学習の時間の学習指導要領における位置づけ					
	第2回	小学校における総合的な学習の時間にかかる全体的な計画					
	第3回	地域・文化を核とする総合的な学習の時間のあり方					
	第4回	総合的な学習の時間における教師の支援					
	第5回	総合的な学習の時間における教師の支援					
	第6回	総合的な学習の時間における, 他者との課題解決の重要性					
	第7回	総合的な学習の時間における, 他者との課題解決の重要性					
	第8回	総合的な学習の時間における評価					
	第9回	総合的な学習の時間における評価					
	第10回	総合的な学習の時間の年間計画と学校づくり					
	第11回	総合的な学習の時間の学年, 学級年間計画					
	第12回	総合的な学習の時間の年間計画立案					
	第13回	総合的な学習の時間の年間計画立案発表会					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	図工科指導法	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師						
授業のねらい (到達目標)	図工科の教育目的と内容を理解し、学習指導要領に基づいて、「A表現」「B鑑賞」、「共通事項」も含め、学んでもらう。理論的な面と実践的な教材研究も交えながらポイントを押さえ、学習指導の力を身につける。						
授業概要	指導案作成や模擬授業なども状況に合わせて行う。技術も大事だが、個々の発想、アイデアなどがあふれる表現活動になるようイメージしながら指導を考えて欲しい。指導する上でしっかりと教材に触れ、自ら体験することが大事なので、教える側の目線で考えながら制作も行う。						
テキスト	図工科指導法(姫路大学)						
授業計画	第1回	授業内容の説明、図工の歴史の変遷、教科書、指導要領等					
	第2回	学習指導要領について①					
	第3回	学習指導要領について②					
	第4回	造形遊びについて 演習課題					
	第5回	造形遊びについて 演習課題					
	第6回	絵に表す 説明 演習課題					
	第7回	絵に表す 演習課題					
	第8回	立体・工作に表す 説明 演習課題					
	第9回	立体・工作に表す 演習課題					
	第10回	指導計画、鑑賞について、評価について					
	第11回	指導案、模擬授業等について、課題作成					
	第12回	模擬授業①					
	第13回	模擬授業②					
	第14回	模擬授業③					
	第15回	まとめ、振り返り					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期	
科目名	保育内容(環境Ⅱ)	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「環境」のねらいの意義を理解し、適切なねらいを立て、計画を実践する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境について理解し、身近な環境への問題意識を持つ。 3. 計画実践を通して、保育実践力向上を図る。 					
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学び、保育の環境や環境構成のあり方について考え、課題解決のための保育計画の立案を行い、計画実践する。					
テキスト	なし					
授業計画	第1回	子どもの身近な環境の変化についての考察と領域のねらいの意義				
	第2回	環境の変化についての考察からのねらいの設定				
	第3回	校外学習計画				
	第4回	校外学習計画				
	第5回	校外学習計画				
	第6回	校外学習計画				
	第7回	指導案の作成				
	第8回	指導案の作成				
	第9回	校外学習				
	第10回	校外学習				
	第11回	校外学習				
	第12回	校外学習				
	第13回	振り返り				
	第14回	振り返り				
	第15回	振り返り				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	保育内容人間関係Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針・幼稚園教育要領における領域人間関係のねらいや内容の取扱いについて理解する。 ・人間関係の発達や自立心・協同性の発達を理解し、保育実践に応用できる。 						
授業概要	1) 事例を用い、さまざまな子どもの人と関わる力の育ちを考察する。 2) 保育者としてどのように人と関わる力を育てていくのか、保育者として子どもとどのような関係を築いていくか考察する。						
テキスト	幼稚園教育要領,保育所保育指針						
授業計画	第1回	保育の基本と人との関わり					
	第2回	演習1「私は誰」「対人関係図」、ワークシート1					
	第3回	乳児期における人との関わりの発達、ワークシー2					
	第4回	遊びの中で育つ人との関わり、演習3、ワークシート3					
	第5回	人との関わりを育てる保育の充実・保育者の役割					
	第6回	人との関わりが難しい子どもへの支援					
	第7回	園、家庭、地域の生活と人との関わり					
	第8回	演習4、事例 グループワーク					
	第9回	ワークシート4、領域人間関係をめぐる諸問題					
	第10回	単位認定試験					
	第11回	インドプロジェクトの事例から保育内容を考察する					
	第12回	インドプロジェクトの事例から5領域の関連を考察する					
	第13回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える					
	第14回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える(ロールプレイ)①					
	第15回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える(ロールプレイ)②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期	
科目名	外国語(英語)	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	堀切 修宏	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	小学校での外国語活動の教育、中学、高等専門学校でのCLILを用いた教育実践、学習塾の運営					
授業のねらい (到達目標)	児童を対象にする外国語(英語)教育について、それぞれの発達段階における具体的な指導内容を理解することができる。					
授業概要	小学校における英語教育を進めるために、児童の発達段階の特徴を知り、発達段階に応じた英語教育を実践できるよう知識を深める。					
テキスト						
授業計画	第1回	小学校における英語教育について				
	第2回	学習指導要領の目標と内容				
	第3回	第二言語の習得について				
	第4回	英語学習の具体的なあり方				
	第5回	指導の効果的なインプット				
	第6回	英語の音声				
	第7回	発音と綴りの関係				
	第8回	文法指導				
	第9回	読む活動「絵本」				
	第10回	読む活動の具体的指導				
	第11回	話す活動				
	第12回	指導者に求められる話す力				
	第13回	評価規準と観点別評価				
	第14回	いろいろな教材				
	第15回	まとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期									
科目名	教育方法論	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年													
授業のねらい (到達目標)	教育方法の歴史を振り返るとともに、指導や学習における基礎的な知識を身につけさせる。													
授業概要	教育史、学習方法、教材、学習評価の方法を中心に行う。 授業を通して得た知識を幼児教育、保育に近づけて考えられるようにする。													
テキスト	姫路テキスト「教育方法論」													
授業計画	第1回	・教育方法学の位置と教育方法の意義												
	第2回	・教育方法の守備範囲及び教育目標と内容との関係等・ヘルバルト学派												
	第3回	・教育方法の歴史的展開(近代の教育・現代の教育)ヘルバルト学派・デューイ												
	第4回	・教育方法の歴史的展開(現代の教育・教育工学)デューイ												
	第5回	・我が国における教育方法の変遷(1)仮説実験, 分団式動的教育論, ~式教育等												
	第6回	・我が国における教育方法の変遷(2) 集団教育・個別教育・ペア学習・問題解決学習・課題解決学習等												
	第7回	・教育方法とICT												
	第8回	・教育方法とICT												
	第9回	・教育方法とICT												
	第10回	・幼児教育の方法とICT												
	第11回	・授業の概念と学習指導の形態												
	第12回	各教科指導と教育方法												
	第13回	情報化時代における教育												
	第14回	情報化時代における教育												
	第15回	情報化時代における教育												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期	
科目名	生徒指導・進路指導	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	吉原 修英	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	生徒指導及び進路指導の理論と方法を理解する。					
授業概要	生徒指導や進路指導の意義と方法について生徒指導提要をもとに理解する。また、児童生徒の不適応行動等現代的課題の対応について定義や教員に求められる役割、指導のあり方について整理して学ぶ。					
テキスト	生徒指導提要					
授業計画	第1回	生徒指導・進路指導とは				
	第2回	生徒指導の領域・内容における社会性指導, 独善的指導態度, 孤立主義的指導態度				
	第3回	非社会的な行動と反社会的な問題行動				
	第4回	いじめの定義, いじめの構造, いじめ対策について				
	第5回	児童虐待の定義				
	第6回	不登校に関する基本的な考え方				
	第7回	児童生徒の発する問題行動のサイン				
	第8回	児童生徒理解の必要性				
	第9回	集団指導における教育的意義				
	第10回	学校における生徒指導体制				
	第11回	キャリア教育				
	第12回	ケース会議, 職員の専門性と協働性				
	第13回	予防的教育相談				
	第14回	生徒指導の機能を生かした学校行事の在り方				
	第15回	まとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期		
科目名	生徒指導の理論と方法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	吉原 修英	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立小学校での勤務経験を生かし、現場で求められる教員の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	生徒指導及び進路指導の理論と方法を理解する。						
授業概要	生徒指導や進路指導の意義と方法について生徒指導提要进行をもとに理解する。また、児童生徒の不適應行動等現代的課題の対応について定義や教員に求められる役割、指導のあり方について整理して学ぶ。						
テキスト	生徒指導提要						
授業計画	第1回	生徒指導・進路指導とは					
	第2回	生徒指導の領域・内容における社会性指導, 独善的指導態度, 孤立主義的指導態度					
	第3回	非社会的な行動と反社会的な問題行動					
	第4回	いじめの定義, いじめの構造, いじめ対策について					
	第5回	児童虐待の定義					
	第6回	不登校に関する基本的な考え方					
	第7回	児童生徒の発する問題行動のサイン					
	第8回	児童生徒理解の必要性					
	第9回	集団指導における教育的意義					
	第10回	学校における生徒指導体制					
	第11回	キャリア教育					
	第12回	ケース会議, 職員の専門性と協働性					
	第13回	予防的教育相談					
	第14回	生徒指導の機能を生かした学校行事の在り方					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	3学年	開講期	後期	
科目名	外国語(英語)指導法	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	堀切 修宏	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	小学校での外国語活動の教育、中学、高等専門学校でのCLILを用いた教育実践、学習塾の運営					
授業のねらい (到達目標)	①コミュニケーション活動を通じた意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に活かすことができる。②題材の選定、教材研究の仕方について理解し、適切に題材選定や教材研究ができる。					
授業概要	小学校における「外国語活動」及び「外国語」の学習・指導・評価に必要な基本的な知識及び指導技術をみにつける。					
テキスト	①新編 小学校英語教育法入門 ②We Can! 1 ③We Can! 2					
授業計画	第1回	教材・教具の活用法				
	第2回	評価の意義と評価法				
	第3回	授業過程と指導案の作成				
	第4回	授業づくりについて				
	第5回	教材研究について				
	第6回	ALTとのTT指導				
	第7回	模擬授業の授業計画・授業準備①				
	第8回	模擬授業の授業計画・授業準備②				
	第9回	模擬授業の授業計画・授業準備③				
	第10回	模擬授業①				
	第11回	模擬授業②				
	第12回	模擬授業③				
	第13回	模擬授業④				
	第14回	模擬授業の振り返り				
	第15回	小学校外国語教育の課題と展望				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期	
科目名	教育実習事前・事後指導(小学校)	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年					
授業のねらい (到達目標)	①小学校実習の目的の理解 ②実習に必要な知識理解 ③実践的能力を模擬授業を通じて会得					
授業概要	【事前指導】教育実習に向けて、学校教育・児童の発達の特質・学級集団・学級経営・道徳・授業評価など、実習前に理解しておくべき内容について学ぶことを目的とする。 【事後指導】自身が受けた教育実習を振り返り、授業と実習全般について考察した上で、卒業するまでに深めておくべき自己の課題を明確にする。さらに、教育実習を終えた段階で、教職について自分なりに考察することを目的とする。					
テキスト	①児童生徒の健康診断マニュアル(平成27年改訂) ②新潟県養護教諭執務の手引き					
授業計画	第1回	事前オリエンテーションで押さえるべき内容・演習				
	第2回	学級集団理解と教室経営				
	第3回	学校教育全般理解・校務分掌・教師の仕事				
	第4回	学級集団理解と教室経営				
	第5回	学級集団理解と教室経営				
	第6回	学習指導における, 学習状況のみとり				
	第7回	授業準備・資料作成について				
	第8回	板書				
	第9回	授業準備等				
	第10回	授業準備等				
	第11回	授業準備等				
	第12回	授業準備等				
	第13回	授業準備等				
	第14回	実習ふりかえり				
	第15回	実習ふりかえり				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期									
科目名	書写	授業形態	演習	単位数	1単位									
担当教員	岡村 浩	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	小学生対象の「文字と書道に親しむ」硬毛筆公開講座、「文字文化に関する意識」として小中高教員を対象とした指導法講座を定期的に関講													
授業のねらい (到達目標)	書写の指導力を身につけるために、硬筆・毛筆・文字・書写の指導内容に関する基礎的な知識と技術を修得する。													
授業概要	書写の指導力を身につけるための学習。硬筆・毛筆・文字・書写の指導内容に関する基礎的な知識と技術の修得を目指す。													
テキスト	なし													
授業計画	第1回	書写について												
	第2回	書写の学習内容												
	第3回	文字、「漢字」の成り立ち説明												
	第4回	文字、「かな」の成り立ち説明												
	第5回	「かな、漢字仮名交じり文」の練習①												
	第6回	「かな、漢字仮名交じり文」の練習②												
	第7回	添削について												
	第8回	採点、評価の仕方												
	第9回	指導案 毛筆												
	第10回	指導案 硬筆												
	第11回	ひらがな表記の作品												
	第12回	ローマ字表記の作品												
	第13回	カタカナ表記の作品												
	第14回	自由作品づくり												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。 子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など支援の実際を学ぶ。						
授業概要	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解するとともに、保育士の行う子育て支援の展開を学ぶ。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	保育の専門性と子育て支援					
	第3回	保護者に対する子育て支援					
	第4回	ソーシャルワーク理論					
	第5回	保育士の行う子育て支援(方法)					
	第6回	保育士の行う子育て支援(技術)					
	第7回	共感的理解、傾聴					
	第8回	非言語コミュニケーション					
	第9回	自己覚知(演習)					
	第10回	価値観(演習)					
	第11回	記録(演習)					
	第12回	社会資源(演習)					
	第13回	事例分析①					
	第14回	事例分析②					
	第15回	事例分析③					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	教職実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成系大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年						
授業のねらい (到達目標)	大学4年間で学んだ学習知と教育実習等で得られた教科指導力や生徒指導力等の実践知と統合を図り, 使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質構築と確認を行う						
授業概要	① 使命感や責任感, 教育的愛情 ② 社会性や対人関係能力 ③ 幼児児童生徒理解や学級経営力 ④ 教科・保育内容の指導力						
テキスト	担当教員が所持する「教職実践演習」(上越教育大学出版会)ワークブックを活用						
授業計画	第1回	学級経営における教師の対応(ロールプレイング)					
	第2回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)					
	第3回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)					
	第4回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)					
	第5回	学級経営案立案					
	第6回	非違行為と法規					
	第7回	「私の学級経営方針」(意見発表と交流)					
	第8回	「私の学級経営方針」(意見発表と交流)					
	第9回	児童会活動・自治的活動時の子どもの動かし方					
	第10回	児童会活動・自治的活動時の子どもの動かし方					
	第11回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)					
	第12回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(ロールプレイング)					
	第13回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業					
	第14回	教職への理解					
	第15回	教職への理解					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年
科目名	教育実習(小学校)	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員養成学部の教育研究職助手5年				
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1)教育実習の意義、心構えについて理解することができる。 2)教育職員としての心構えについて理解することができる。 3)実習日誌や指導案等作成について理解することができる 4)実習の成果をレポートにまとめることができる。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場において授業の観察および実践を行い、実践的指導力の基礎を習得する。 ・指導教員の下で学級経営に携わり、学級担任の業務とともに児童生徒を理解する。 ・学校での諸活動に関わりながら、教職員としての職務およびサービスを遂行する。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習校による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・授業実践・生徒指導の評価基準に基づく)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年
科目名	地域ボランティア	授業形態	実習	単位数	1単位
担当教員	三好 賢治	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	社会福祉士として障害者の入所及び通所施設、障害者グループホーム等において勤務				
授業のねらい (到達目標)	地域貢献の一環として、地域ボランティアを必修としています。この活動を通して社会貢献の現状と課題を学び、その中で自分自身と社会のつながりを見直すことで、教職を目指すものとして改めて自覚を高めてもらいたい。				
授業概要	<p>1. 活動内容 地域の特色を生かした奉仕活動、地域社会に対する奉仕活動であることを前提とする。くわしい活動内容は、活動先と相談し決定する。</p> <p>2. 活動時間 活動先が複数になっても構わないが、活動時間の合計が45時間となるよう調整する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>活動の評価はボランティア活動報告書に第三者が記入・証明を行うものとする。</p> <p>活動の評価及び活動記録を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	教材研究Ⅳ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	笹川 英雄	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育現場 3年6ヶ月						
授業のねらい (到達目標)	新社会人に向け、幼児理解を深めながら、こどもに寄り添った教材研究を行い、見通しを持って制作を行い、演じる。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を加えて保育グッズ作りをし、実演して学び合う ・子どもに身近な絵本の中に見られるSDGsについて考え、話し合い発表しあって理解を深める ・新聞紙あそび・科学あそび・折り紙・手あそびなど様々なあそびについて更に広く学び合う 						
テキスト							
授業計画	第1回	人形劇/出し物系シアターの練習					
	第2回	大きな行事に向けた出し物作り(複数人で一組※音楽・ピアノなど使用)					
	第3回	出し物の発表					
	第4回	秋の素材を使った遊びと制作					
	第5回	パネルシアターの制作					
	第6回	人形劇・シアター制作					
	第7回	人形劇・シアター制作					
	第8回	人形劇・シアター制作					
	第9回	人形劇・シアター制作/発表					
	第10回	未満児/以上児の正しい理解を深める					
	第11回	行事シアターの作り方、演じ方					
	第12回	交通安全教室・幼年消防クラブの伝え方、制作					
	第13回	新年度グッズの制作/日付表					
	第14回	新年度グッズの制作/お当番表/お天気表					
	第15回	春からの新社会人に向けて					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						